

# orpaivos

MAY 2007

ワーラノス

Vol.25

## 特集 NEW WAVE TGU

- 実践で身につけるロボット開発の力— 1
- 歴史を伝え、今に導く— 3
- 学長室より— 4
- 協奏、そして共創へ— 5
- 学部より— 7
- 大学院より— 8
- 同窓生を訪ねて— 9
- クローズアップ— 10
- まると東北学院大学 in AKITA— 11

「熟考」。社会変革の大きなうねりの中で私たちの拠って立つ基盤も揺り崩されようとしています。安易にそうした流れに身を任すことなく常にその本質を見極めるためには、何にもまして熟考することが求められます。そうしてはじめて、地域社会に根ざした高等教育機関としての本学が地域社会に対して希望に満ちたメッセージをより積極的に発信することができると思っています。

「希望」。この国には希望だけがないといわれてきました。しかし、ともに希望を語ることが教育であるはず。混迷する現代社会に希望の光を発見し、地域社会に「世の光」として輝ける人々を創造するために、高等教育機関として本学に与えられた使命を一步一步着実に果たしていきたいと思っています。

# 実践で身につけるロボット

— 低学年次からの教育で開発力向上を図る —

ロボットいじりの醍醐味は創り出すことにあります。当研究室では、4年次からの卒業研究に加え、低学年次から意欲ある学生を募集して、より実践的なロボット開発を行っています。昨年はロボットコンテストで大健闘するなど成果も表れているこの取り組みについて、紹介いたします。



※RDE (Robot Development Engineering) 「ロボット開発工学研究室」の略

# 開発の力

工学部機械知能工学科 准教授

くま がい まさ あき  
熊谷正朗

**RDE**  
Robot Development Engineering

## 機械のさらなる高度化に対応すべく 学科を改変し、名称を機械知能に

今日の機械はほとんど電子制御化が進み、昔はスイッチを入れれば回るだけだった掃除機も洗濯機もミシンも、多くがコンピュータを内蔵するようになりました。表向きは機能の高度化が目的ですが、ある程度コンピュータに任せた方が機械の設計が楽になるという場合もあります。このような背景のため、今どきの機械の学科は、加工や歯車といったメカそのものを扱うだけではまず、電子回路も、コンピュータも扱います。当学科も例外ではなく、平成18年度から教育科目の変更を行い、学科名が機械知能工学科となりました。

## 卒業研究ではなく卒業開発

当学科には従来より、機械工作の実習があります。毎年、新入生ほぼ全員が取り組んでいます。コンピュータについても、情報装置として、あるいは高度な計算機としての実習があります。しかし、電子回路についての実習や、メカと一体となったコンピュータの実習は、残念ながら、まだありません。そこまで性急な変革は困難ですし、なにより、この手ものは大人数の一括教育が困難で、とても教える手が足りません。

そこで、「技術は実践でなければ身に付かない」という考えのもと、私の研究室では、卒業研究というよりは卒業開発といったほうが正しいようなテーマに、学生に取り組んでもらっています。できる部分は彼らに任せ、足りない技術は私が積極的に提供するという共同開発のスタイルです。昨年度も写真のように、脚の生えたロボットから、人が乗れて自動走行もできるトレーラーロボットまで開発されました。この勢いで作るので、実験室にあるロボットはすでに10台を超えています。

## 開発力を高めるため 低学年次から研究を開始

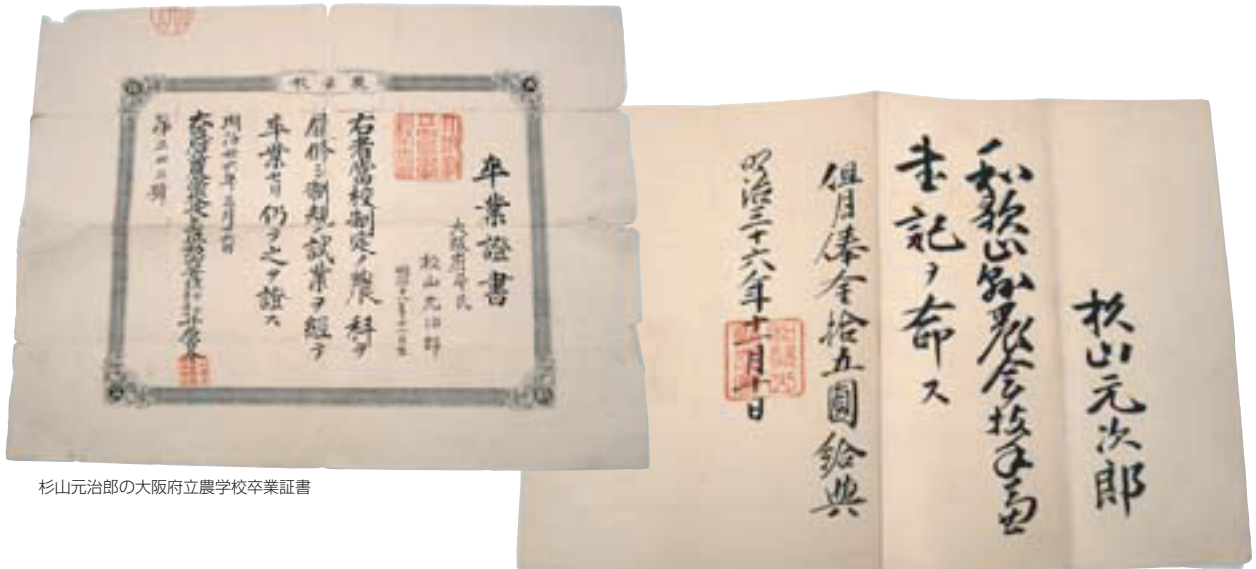
しかし、4年生になってからでは、実は手遅れです。何かが身に付き始めた頃には卒業で、当人が自発的に技術をふるう時間はありません。そこで、2年ちょっと前から、「是非ともロボットを作りたい」という学生の募集を始めました。本来は卒業研究の4年生や大学院生がいるだけの実験室への出入り、および工具などの使用や消耗品の利用を許可し、ロボットコンテストへの参加を支援するという試みです。こちらから講義や実技指導は積極的には押しつけず、まずは彼らが考え、相談し、手を動かし、その上で必要になったことを解説しています。「ロボット研究会」という課外活動団体がありますが、実体は大学の専門教育に欠けている実習の自学自習の場です。

## 大学院生の指導も受け ロボットコンテストで健闘

もっとも、いきなりコンテストに出るには技術の蓄積が足りませんので、「先輩の技術」として、いくつかの中核機能パーツは開発してプレゼントしました。それをもとにロボットの開発が始まり、研究室の大学院生によるソフトウェア技術の指導もあり、昨年の大会では、活動2年目ながら4チームが出場しました。東北大、京都大などからのチームも含む80チーム中で3、5、6位と大健闘し、1チームが「審査員特別賞」を授与されました。こうした努力に対して大学からも「学長特別表彰」を頂きました。この春休みから、今年の大会に向けて開発を始めています。最近、私の手を離れてきた感じで、多少寂しい気もしますが、影から支えていこうと考えています。本当は私自身も本業をほったらかして、一緒に働きたいところなのですが。

# 杉山元治郎と『真紅』事件

経済学部教授 岩本 由輝 いわた ともよし



杉山元治郎の大阪府立農学校卒業証書

杉山元治郎の和歌山農会 技手兼書記の辞令

1903年3月、杉山元治郎さんは大阪府立農学校農科を33人中9番の成績で卒業しました。しかし、小作農である杉山さんの家には、父と一緒に農業をやっていくだけの十分な土地はありません。そこで、卒業後の11月10日、農学校長井原百介の推薦で和歌山県農会に技手兼書記として就職しました。月給は15円です。ちょうどその直前の10月に、農商務省が「農会ニ対スル論達」として農事改良必行事項十四項目を打ち出しており、杉山さんもその普及に動員されました。十四項目のなかみは杉山さんが農学校で学んだ事柄の実践になるわけですが、杉山さんはその仕事に没頭できませんでした。

すでに受洗していた杉山さんは、1904年を迎えて間もなく、教会の籍を和歌山市三木町の日本基督教会和歌山教会（現日本基督教団和歌

山教会）に移しましたが、当時の牧師は滝本幸吉郎であり、副牧師は沖野岩三郎でした。そして、沖野が中心となって、幸徳秋水、堺利彦らが創刊した週刊『平民新聞』の読者グループを作っていましたが、杉山さんはその人たちとすぐに親しくなり、グループ内の和歌山中生たちが『真紅』という同人雑誌を発行したとき、社会人であった杉山さんはその発行人を引き受けました。

日露戦争が勃発したのは、1907年2月上旬ですが、旅順要塞戦での傷病兵が後送されて和歌浦の衛戍病院に療養に来るようになり、在郷軍人には待機措置がとられるようになった頃というから、8月末から9月にかけてのことでしょうか、和歌山城公園内の葵倶楽部で『真紅』発刊祝賀演説会が開かれました。ところが登壇する弁士がかわるがわる非戦論をぶち

あげましたので、『真紅』の幹部は「露探」、すなわちロシアのスパイということで大問題となり、『真紅』はもちろん発禁、杉山さんは県の書記官から辞職を勧告されました。辞職の方は、杉山さんが直接壇上で非戦論を唱えたわけではないので、沙汰やみになりましたが、職場の雰囲気は厳しいものでした。

もともと杉山さんを「キリスト教を主とし、自分の職業を客」となしている奴とみていた上司や同僚たちは、キリスト教なんかにかぶれるから非戦論者になるんだとばかりの非難をあげせました。そこで杉山さんは牧師の滝本幸吉郎と相談し、「新しい独逸神学」を学ぶために、東北学院に入る決意を固め、1908年8月19日に和歌山農会を依願退職し、9月1日に仙台にやってきました。



## 2つの大学との 50年以上にわたる総合定期戦

学長 星宮 望

『ウーラノス』(2005年7月号)に記述してまいりました。10月26日(資料によつては9月26日)に東北帝国大学法文学部トラックにおいて悪天候の下で陸上競技が行われ、同日、青山学院球場ではサッカーが行われました。また、10月9日に野球大会、10月26日にラグビー大会が行われたことなども記録されています。残念ながら、当時の社会情勢が悪化し、その後、太平洋戦争に突入することになったため、第2回大会を開催した後は、中止となってしまいました。そして、長い中断の後、両大学が新制大学として発足した翌年の昭和25年(1950年)になって再開することになりました。そして、改めてこの1950年の大会をもって第1回とすることにし、本年(2007年)に第58回大会を迎えることになりました。

『ウーラノス』(2005年7月号)に記述してまいりました。10月26日(資料によつては9月26日)に東北帝国大学法文学部トラックにおいて悪天候の下で陸上競技が行われ、同日、青山学院球場ではサッカーが行われました。また、10月9日に野球大会、10月26日にラグビー大会が行われたことなども記録されています。残念ながら、当時の社会情勢が悪化し、その後、太平洋戦争に突入することになったため、第2回大会を開催した後は、中止となってしまいました。そして、長い中断の後、両大学が新制大学として発足した翌年の昭和25年(1950年)になって再開することになりました。そして、改めてこの1950年の大会をもって第1回とすることにし、本年(2007年)に第58回大会を迎えることになりました。

両定期戦が発足したところを振り返りながら、その意味を考えてみたいと思います。

東北学院も青山学院も、ともにプロテスタント系キリスト教を建学の基礎として、今から約120年前に創立された学校です。そのため、教育内容など、種々の面で情報交換や協力をしてきています。その交流の一環としてスポーツの定期戦が行われてきました。実は、青山学院大学との定期戦が初めて開催されたのは、今をさること75年前の昭和4年

料によつては9月26日)に東北帝国大学法文学部トラックにおいて悪天候の下で陸上競技が行われ、同日、青山学院球場ではサッカーが行われました。また、10月9日に野球大会、10月26日にラグビー大会が行われたことなども記録されています。残念ながら、当時の社会情勢が悪化し、その後、太平洋戦争に突入することになったため、第2回大会を開催した後は、中止となってしまいました。そして、長い中断の後、両大学が新制大学として発足した翌年の昭和25年(1950年)になって再開することになりました。そして、改めてこの1950年の大会をもって第1回とすることにし、本年(2007年)に第58回大会を迎えることになりました。

一方、北海学園大学との定期戦開催のきっかけは少し違っていました。まず始めに、当時、北海道で唯一の私立大学として発足間もない北海学園大学側から、東北地区で名のある東北学院大学との定期戦を開催したいとの提案が行われました。昭和29年の春に北海学園大学の補導部長が来仙され、東北学院大学の学生部長らと協議して、基本的な合意を形成しました。しかし、東北学院大学側の学生からは、同じ時期に2つの定期戦を行うことは選手にオー

バーワークとなり満足すべき力を発揮できず、成果も挙げ得ないことや、予算が十分確保されない恐れがあるなどの理由によって反対の意見が強く出されて一時は否決されました。しかし、その後、体育会、学生会、大学の学生部などの努力によって、ようやく承認されることになり、昭和30年(1955年)6月2~4日に札幌市で第1回大会が実施されることになったのです。

戦績は、東北学院大学側から見て、対青山学院大学戦が21勝36敗(約25種目)、対北海学園大学戦が52勝0敗(約20種目)です。戦績に関係なく、両大学のそれぞれの選手や先輩方の素晴らしい友情と暖かい交流を見ていると本当にすがすがしさと頼もしさを感じます。スポーツの素晴らしさを実感する時です。

なお、蛇足ながら、個人的なことを記すことをお許しいただきたいと思います。平成17年度から北海学園大学の学長に就任された朝倉利光先生は、今から約25年ほど前に、私が北海道大学教授をしていたときに同じ北海道大学応用電気研究所の教授をしておられた同僚で、不思議なご縁があると感じています。

両大学との総合定期戦を今後とも大切にしていきたいと思います。

# 協奏

そして

# 共創へ

## 東北学院大学オープンキャンパス2007 のご案内



毎年恒例となりました、「東北学院大学オープンキャンパス2007」を下記の日程で開催いたします。模擬授業、キャンパスツアーなど様々な企画を準備しておりますので、どうぞご参加ください。

### ■泉キャンパス(文学部・経済学部・法学部・教養学部)

- 日時：8月4日(土)9時～16時(受付時間 9時～15時)
- 主な内容：入試説明会、学科ガイダンス、模擬授業、個別相談コーナー(入試・編入学、資格取得、カリキュラム、留学、就職、奨学金、課外活動)、パイプオルガン演奏、キャンパスツアー ほか
- アクセス：当日は次のとおり無料シャトルバスを運行します(約20分間隔)。  
なお、通常の路線バスも運行しています。
  - ・地下鉄泉中央駅→泉キャンパス 8時40分～14時40分
  - ・泉キャンパス→地下鉄泉中央駅 11時～16時

### ■多賀城キャンパス(工学部)

- 日時：8月4日(土)9時～16時(受付時間 9時～15時)  
8月5日(日)9時～15時(受付時間 9時～14時)  
10月6日(土)9時～16時(受付時間 9時～15時)  
10月7日(日)9時～15時(受付時間 9時～14時)  
※10月6・7日の両日は大学祭(工学部祭)開催期間中です。
- 主な内容：キャンパス施設見学、学科ガイダンス、総合相談コーナー(入試・編入学、資格取得、カリキュラム、留学、就職、奨学金、課外活動ほか)
- アクセス：JR仙石線多賀城駅から徒歩約10分  
JR東北本線国府多賀城駅から徒歩約15分  
※駐車場を用意しています。

### ■学部オープンキャンパス

- 文学部：6月30日(土)10時30分～16時 土樋キャンパス
- 法学部：6月30日(土)13時00分～16時30分 土樋キャンパス  
※法学部は12:55までに集合してください。
- 教養学部：7月7日(日)10時～16時 泉キャンパス  
10月8日(月)10時～16時 泉キャンパス
- 主な内容：学科ガイダンス、模擬授業、入試説明、個別相談、先輩懇談ほか

### ■「まるごと東北学院大学 in AKITA」(秋田地区オープンキャンパス)

- 日時：7月15日(日)10時～16時
- 場所：秋田市文化会館  
※「まるごと東北学院大学 in AKITA」の情報は、裏表紙をご覧ください。

問い合わせ先：総務部総務課

TEL.022-264-6412 FAX.022-264-3030

E-mail tgusomu@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

URL <http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/>

## 映画「アヒルと鴨のコインロッカー」の撮影が 泉キャンパスで行われました



大塚寧々と濱田岳のワンシーン (C)2006『アヒルと鴨のコインロッカー』製作委員会

昨年の4月22日(土)から23日(日)にかけて、本学泉キャンパスにおいて、映画の撮影が行われました。

撮影された映画は、映画史上はじめて、全国に先駆けて5月12日(土)から仙台・宮城で先行ロードショーされる『アヒルと鴨のコインロッカー』。仙台在住の人気ミステリー作家・伊坂幸太郎さんの最高傑作とも評される同名小説を、オ

ール仙台・宮城ロケで完全映画化したものです。本学は桜咲く頃、主人公の椎名(濱田岳さん)が通う大学(青葉学院大学)として登場。泉キャンパス内の掲示板や噴水広場、生協などがロケに使われました。在学生のエキストラも多く参加し、にぎやかに撮影されました。監督は「刑務所の中」、「クイール」などの脚本家としても知られ、「ルート225」で高い評価を得た中村義洋監督。巧妙に構成された物語を見事に映像化することに成功し、原作者本人が「原作者という立場をまったく抜きにして言いますが、こんなに良質の映画はそうそうないと思います」と絶賛を惜しまない、類稀な作品が仙台から誕生しました。

本学泉キャンパスの雰囲気も十分に感じ取っていただける内容となっておりますので、ぜひご覧ください。

出演:濱田岳 瑛太/関めぐみ 田村圭生/松田龍平/大塚寧々  
原作:伊坂幸太郎『アヒルと鴨のコインロッカー』(創元推理文庫刊)  
主題歌:ボブ・ディラン「風に吹かれて」(ソニー・ミュージックダイレクト)  
監督:中村義洋 脚本:中村義洋、鈴木謙一  
(C)2006『アヒルと鴨のコインロッカー』製作委員会



泉キャンパス入口での撮影シーン (C)2006『アヒルと鴨のコインロッカー』製作委員会



## 工学部

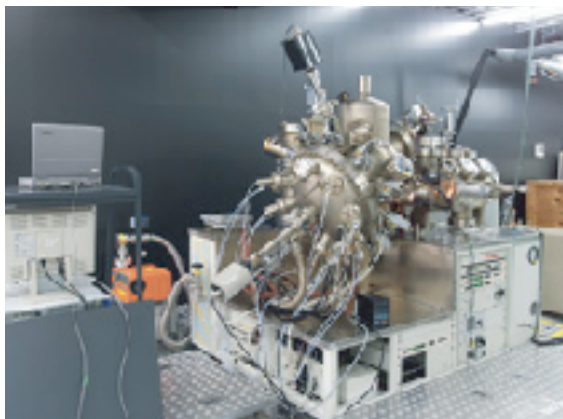
### ナノテクノロジーの拠点形成 — 究極のものづくりをめざして —

平成18年度私立大学研究高度化推進事業の1つであるハイテクリサーチセンター推進事業が文部科学省から採択されました。事業名は「特殊環境下における外場誘起ナノデバイスの機能性発現および新材料の探索」という難しくそうで長いタイトルです。

ナノテクノロジーを簡単に言えば大きさが1nm(ナノメートル:1mの10億分の1、 $10^{-9}$ m)から100nm程度の物質の合成プロセスと、合成された物質の構造、機能を扱うテクノロジーのことです。ちなみに、純鉄の最隣接の原子間距離は約0.25nmです。

科学技術立国日本はIT、バイオ、環境、ナノテクノロジーを重点4分野と位置づけていますが、IT、バイオ、環境とナノテクノロジーは密接に関わり、これら3つを支えているのがナノテクノロジーです。間違いなく、ナノテクノロジーは21世紀のキーテクノロジーなのです。

なぜナノテクノロジーが注目されているのでしょうか。その理由の1つは、小さくすることによって集積度の格段の



上昇が実現できることです。事業内容の1つのテーマ「弱磁場感应型磁気記録デバイスの作製と評価」は、この特性を応用しております。集積度が格段に上昇すれば、情報の処理量とスピードが桁違いに上昇し、質的变化をもたらします。図書館の蔵書が1枚のカードに記憶できる時代が来るかもしれません。

量子力学によれば電子は粒子性と波動性の特性を持っています。マイクロメートル(1mの100万分の1、 $10^{-6}$ m)位のデバイスでは電子の波動性は顕著に現れませんが、ナノスケールのデバイスでは電子の波動性が現れ、従来と全く違った機能を持つデバイス作製が可能となります。これがナノテクノロジーが注目される第2の理由です。

第3の理由は、非常に小さいので外部からの微弱の信号にも応答性が非常に良いデバイスを作製することができることです。事業内容の第2、第3のテーマ「高感度薄膜磁歪材料の作製」、「薄膜電歪材料の創成とデバイスへの応用」はこの特性を利用しています。外場として磁場、電場を作用させると物質が伸びたり、収縮したりするデバイスを作製し、それをセンサー等に應用しようというテーマです。磁場で物質の形状を記憶させるというテーマも研究されるでしょう。特殊環境というのは、超微小空間や宇宙空間等を意味します。

このセンターの特徴はセンター内だけで原子レベルでデバイスを作製し、その評価、機能を調べることができることです。申請課題以外にも、異分野の研究者との融合研究ができることを期待しています。研究テーマが夢物語にならないように教員、学生一同気合を入れております。工学部正門のそばの瀟洒な建物しょうしゃがハイテクリサーチセンター棟です。見学コースもできていますので是非お寄りください。





法学研究科

北海道学園大学大学院法学研究科との単位互換協定が更新されました

東北学院大学大学院法学研究科は札幌市の北海道学園大学大学院法学研究科と平成14年に単位互換協定を結び、両研究科間の学術交流をはかってきました。この協定は平成19年3月で協定期限を迎えました。両大学院研究科委員会の承認を受け、当該協定は更に5年間更新されることとなり、単位互換協定更新の調印式が2月27日に東北学院大学で行われました。

北日本を代表する私立大学である東北学院大学と北海道学園大学との間では、1955年以来、スポーツを中心として活発な交流が行われてきました。両研究科間で締結された単位互換協定は、両大学間の交流をスポーツの枠を越えて学術分野にまで広げ、学生間のさらなる交流の促進をはかろうとするものです。

大学間単位互換制度は全国各地の大学で採用されていますが、その目的とするところは、一大学が単独で開講できる科目には限度があり、他大学での科目履修を認めることで学習機会の拡大をはかるとともに、学生の大学間交流を促進することにあります。東北学院大学の提唱で平成13年度に発足した「学都仙台単位互換ネットワーク」のもとで、東北学院大学は仙台地域の他大学と学部レベルで単位互換交流を実施してきました。北海道学園大学大学院法学研究科との単位互換協定は、この大学院版ということになります。同大学院法学研究科との単位互換に関する協定書によれば、両研究科とも各年度5人まで双方の学生を受け入れ、各履修者は10単位を上限として相手研究科の授業科目を自由に履修することができます。入学金および受講料等は一切徴収されません。

単位互換制度のもとで、両研究科の学生はより広い選択肢の中から、自分の必要と目的に合わせた専門科目の履修が可能になったわけですが、学生の強い関心にもかかわらず、この制度は過去5年間、十分に活用されてきたとは言えません。この制度の活性化のためには、学生にとっての利便性を考慮して制度運用面での改善をはかっていくことが必要と思われる。たとえば、現行では学生が相手大学に出向いて受講することになりますが、このような遠隔地への移動と長期間の滞在は学生に過大な経済的負担を強いること意味します。そこで、学生ではなく教員が移動するとか、あるいは、集中講義方式で授業を行うなど、様々な観点から具体的改善策の検討が、両研究科関係者の間で進められています。

学生街を歩く  
Quartier Latin T.G.U.

ナチュラルで シンプルな 心地よい暮らし

フレデリックパントリー、ノワイヨ

FREDERICK PANTRY Noyau



東北学院大学土樋キャンパスから市内中心部に向かって5分ほど歩いたところに、「フレデリックパントリー、ノワイヨ」があります。外観はヨーロッパの小さな町にあるカフェのよう。おいしいそんなランチメニューと居心地のよさそうな雰囲気。店内に入ると、まずは自然の材料で作られた輸入食材が迎えてくれます。そのパッケージはどれも素敵で、使わずに飾っておきたくなるほど。「体にいいというだけでなく、まず美しい、人に贈りたいと思ってもらうことで、ナチュラルな食材を生活の中に取り入れてもらえたら」とオーナーの岩佐さん。

店内奥ではハーブ(植物)療法家そして生活習慣病予防士でもある岩佐さんを講師に、生活の中にハーブを取り入れるための講座が開かれています。内容は「体の不調を整えるハーブ療法」や「ハーブを使った洗剤づくり」など。健康に良いからと好みに合わない食生活や無味乾燥な生活をするのではなく、自分自身の感覚を大切に、心地よい暮らしを送ることを提案しています。また、NPO法人日本メディカルハーブ協会の認定校としてハーバルセラピストを養成する全18回の講座も行っています。

カフェでは肉や魚を使わないヴェジタリアン料理が食べられます。もちろん食材となる野菜、豆、穀物などは有機栽培。化学調味料も使っていません。その分たくさんハーブが料理に彩りや香りを添えてくれます。体と心に良い生活。まずは、おいしいランチ(1,200円)を食べることから始めてみてはいかがでしょうか。



ナチュラル輸入食材店 ヴェジタリアンカフェ 植物療法ハーブ専門店  
フレデリックパントリー、ノワイヨ

OPEN 11:00~19:00(土・祝日 ~18:00)  
休 日 毎週日曜・月曜、3連休の土曜定休  
仙台市青葉区北目町3-10ベルソール北目町1F  
TEL:022-715-8950  
URL <http://www.frederickpantry.com>





## 私の人生は新しい 挑戦の連続です

東芝電池株式会社 取締役社長

おお うち ひで お  
大内 秀夫 氏

1972(昭和47)年3月東北学院大学工学部卒業、同年4月東芝アンペックス株式会社入社 開発技術部、1982(昭和57)年11月株式会社東芝 総合研究所電子機器研究所、2000(平成12)年4月横浜材料部品工場長、2003(平成15)年4月横浜事業所長兼横浜材料部品工場長、2003(平成15)年4月株式会社東芝 バッテリーエナジー事業部長兼株式会社エイティバッテリー取締役社長、2005(平成17)年1月東芝電池株式会社取締役社長就任、現在に至る



### 本学に入学したきっかけは何ですか—

堅いイメージの国立大学ではなく、自由闊達な校風の私立大学に憧れていたことと、長男であるために母親から地元に残まるよう請われ、宮城県内で機械工学を学べるということで東北学院大学を選びました。今、振り返ってみると私の人生は、東北学院大を選んだことから始まったのだと思います。

### 大学4年間で一番印象に残っていることは—

ひとつは礼拝です。それまで、お寺の読経や神社の祝詞は、耳に馴染んではいても意味が不明だったのですが、東北学院大の礼拝で、神の声を誰でも理解可能な言葉で著している『聖書』の存在を知りました。しかも牧師様が分かりやすく説教をしてくれ、人間本来の道を説いてくれる。それを聞いて、賛美歌でお清めすると、何とも言えない清々しい気持ちになったのを今でもよく覚えています。そこで、私が日々心掛けて「心を広く持とう」という気持ちの礎となった隣人愛と博愛を学んだのです。

もうひとつは工学部での卒業研究です。「醤油の熱工学的プロセスについての研究」という、生産性を上げる研究に取り組んでいました。醤油の発酵槽は2.7mより深い槽では発酵せず、発酵にかかる期間も10か月と決まっていたのですが、それを熱工学的プロセスで発酵を速め、蛋白質の抽出を加速しようという実験を行ったのです。結果は成功。6mのタンクをヒーターで加温しながら自動的にスクリーとエアで攪拌したら、なんと3か月で醤油ができてしまったのです。容量と期間のことを考えると生産性が6倍に上がるという成果でした。研究内容は大方で行われた醸造学会で発表して大変な注目を浴び、大手醸造メーカーや当時宮城県の醸造組合が作った会社からスカウトがきたりもしました。そのくらい画期的な研究成果だったのです。

### 現在の仕事に就いたきっかけは何ですか—

学会の発表がきっかけで醸造関係の会社からの誘いはあったのですが、就職担当の先生から東芝の関連会社を勧められ、採用が決まりました。その先生に出会っていなければ、今の自分はいないのだと思うと人の縁というものの大切さ、不思議さを感じずにはられません。

### 現在の仕事内容についてお聞かせください—

電池の製造開発を行っている東芝電池株式会社の社長として、コスト・品質・製造管理と新規事業の立ち上げに取り組んでいます。また、東芝コンシューママーケティング株式会社の事業部長として電池の販売展開についても取り組んでいます。電池の消費量がほぼ決まっているので各社でシェアの取り合いをしている状況です。しかし、新ゲーム機などがリリースされると10%も市場が持ち上がります。今はその10%の奪い合いです。そのような現状で求められるのは、やはり強い商品力と納得価格ということになるのです。

### 大学での4年間は現在の仕事に どう生かされていますか—

卒業研究で培った、新しいことに取り組む姿勢というのが大きいと思います。私の人生を振り返ると、会社に入ってから最初の20年は技術畑で自分の好きな開発に組み、その後はさまざまな分野で管理職として管理や経営に取り組むなど、常に新しいことへの挑戦だったように思います。もちろん心身共につらい状況に直面したこともありましたが、どんな状況においても一生懸命取り組んできました。これは、大学時代に白石学生会のボランティア活動で身につけたコミュニケーション力や社会性も役に立っているのだと思います。

### 後輩たちへのメッセージをお願いします—

今の学生たちは、溢れる情報の中で、情報武装し情報を操作している気持ちになって、自分のポテンシャルが上がったと錯覚しているのではないのでしょうか。それでは、社会において必要な企画力、提案力、実行力など身につけなくてはなりません。まずは学問の基礎をかため、得意分野を深耕させて、自分の根っこをしっかりと生やしてください。そして自分の道を切り拓く力をつけてください。就職が売り手市場だからといって油断は禁物ですよ。

## 東北でただ一人の受賞 「第58回毎日書道展」で 「毎日賞」を受賞



教養学部地域構想学科2年  
ことう あゆむ  
後藤 歩

本学教養学部地域構想学科2年の後藤歩さんが、昨年開かれた日本書道界の最高峰の展覧会「第58回毎日書道展」で「毎日賞」を受賞しました。後藤さんは漢字、かななど書道におけるすべての筆法の要素が含まれる前衛書部門に18歳で初挑戦し、U23(23歳以下)で最年少の受賞となりました。

後藤さんは、高校1年生から書道を始め、自宅にある父親のアトリエと石巻市在住の書道家・千葉蒼玄さんに師事して書道に打ち込むようになりました。

平成17年に開かれた第15回宮城県高校選抜書道展で実行委員会長賞を受賞、昨年2月には第59回書道芸術院展の前衛書部門において準特選を受賞。一般会員で最高賞にあたり、無鑑査役員に最年少で昇格しました。

そして、出品資格年齢に達した昨年、毎日書道展に初挑戦し、作品名「プラネット」で、惑星を繊細かつ大胆に表現し、今回の受賞となりました。

### 毎日賞を受賞しての感想——

書道界最高峰の毎日書道展において憧れの毎日賞を受賞できたことを非常に嬉しく思うと同時に光栄に思います。作品に関しては惑星を繊細かつ大胆にイメージしたのですが、自分の気持ちを率直に紙面に表すことができました。また今回、毎日賞を受賞することができたのは、千葉蒼玄先生(石巻市)の温かいご指導のおかげであり、書道をする環境を整え、見守ってくれた家族のおかげだと思います。今後も支えてくれた方々への感謝の気持ちを忘れずに、さらに良い作品を制作していきたいと思っています。



作品名：「プラネット」写真提供：毎日書道会

### 毎日賞を受賞してからの学生生活——

毎日賞を受賞することができて、努力することの大切さを改めて感じました。そして少しでも上手くなりたいと思ったり良い成績を取めたいと感じたりするのは学業にも通ずるものがあり、常に向上心を持って日常生活を送れていると感じます。また毎日賞を受賞することができて自分に対する自信が生まれました。毎日賞を受賞することができたのは日々の努力の積み重ねの成果であり、自信は努力の裏づけなのではないかと思っています。そして常に周囲の方々への感謝の気持ちも忘れないで努力したいと思います。

「slow but steady～ゆっくりでも一歩一歩着実に～」をモットーに今後の学生生活をより良いものにしていきたいと考えています。

※大崎タイムス社より記事転載

問い合わせ先 総務部総務課 TEL. 022-264-6412  
Email tgusomu@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

# 「まるごと東北学院大学in秋田」のご案内



本学として初めての企画となる「まるごと東北学院大学inAKITA」(秋田地区オープンキャンパス)を、来る7月15日(日)に秋田市文化会館を会場に開催いたします。この企画は、秋田県内の中学生、高校生、ご父母、同窓生、一般の方々まで幅広く、またより深く東北学院大学を知って頂く内容となっております。

これには、5学部14学科の教員が参加し、学部学科の紹介やミニ講義、そして入学から卒業までを分かりやすく説明するコーナーなどを用意しております。その上、秋田出身の在学生から大学生活や仙台での暮らしなどのホットな情報が提供されることになっています。さらにご父母の皆様が心配する住まいの状況や生活に関する情報を提供いたします。

この企画を通じて、「学都仙台」、「杜の都仙台」の東北学院大学に親しんで頂きたいと存じます。

当日は予約の必要はありません。ご自由にご参加ください。「まるごと東北学院大学inAKITA」でお会いしましょう。

問い合わせ先：総務部総務課

TEL.022-264-6412 FAX.022-264-3030

E-mail tgusomu@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

URL <http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/>



OUPANOS(ウーラノス)は「天」を意味するギリシャ語です。使徒パウロは、「信仰と愛は、天に蓄えられている希望に基づくものである」(コロサイの信徒への手紙1章5節)と語っています。この箇所にも οὐρανός の語が用いられています。

## 教育研究振興資金募集のお願い

学校法人東北学院では、平成16年4月1日から平成21年3月31日の期間、右記事業の完遂に向けて教育研究振興資金を募集しております。広く皆さまのご理解とご支援をお願い申し上げます。詳しくは、東北学院法人事務局財務部会計課までお問い合わせください。

〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1  
TEL.022-264-6467  
FAX.022-264-6510

### 【募金目標額20億円】

- 1.東北学院大学キャンパス整備
- 2.東北学院中学校高等学校校舎建設
- 3.東北学院榴ヶ岡高等学校体育館  
および管理棟建設
- 4.東北学院会館(仮称)建設
- 5.東北学院育英奨学基金の増額

# 学校法人 東北学院

## 東北学院大学

### ■土樋キャンパス

大学院：文学研究科、経済学研究科、法学研究科  
法務研究科

学 部：文学部・経済学部・法学部(各3・4年)、  
夜間主コース

〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号  
TEL.022-264-6411 FAX.022-264-3030

### ■多賀城キャンパス

大学院：工学研究科

学 部：工学部

〒985-8537 宮城県多賀城市中央一丁目13番1号  
TEL.022-368-1116 FAX.022-368-7070

### ■泉キャンパス

大学院：人間情報学研究科

学 部：文学部・経済学部・法学部(各1・2年)、  
教養学部

〒981-3193 仙台市泉区天神沢二丁目1番1号  
TEL.022-375-1121 FAX.022-375-4040

## 東北学院中学校・東北学院高等学校

〒983-8565 仙台市宮城野区小鶴字高野123番1  
TEL.022-786-1231 FAX.022-786-1460

## 東北学院榴ヶ岡高等学校

〒981-3105 仙台市泉区天神沢二丁目2番1号  
TEL.022-372-6611 FAX.022-375-6966

## 東北学院幼稚園

〒985-0862 宮城県多賀城市高崎三丁目7番7号  
TEL.022-368-8600 FAX.022-309-2655



## ウーラノス

東北学院大学 広報誌 vol.25

### 広報誌編集委員会

委員長	総務担当副学長	関谷 登
副委員長	総務部長	柴田 良孝
編集長	経済学部教授	原田 善教
委員	宗教学部長	佐々木哲夫
	文学部教授	楠 義彦
	経済学部准教授	白鳥 圭志
	法学部教授	塩屋 保
	工学部教授	石川 雅美
	教養学部准教授	佐々木桂二
	総務部次長	鈴木 孝郎
	総務部総務課長補佐	斎藤 信二
	総務部総務課係長	山本 隆夫
	総務部総務課	薬科 明宏

東北学院大学広報誌「OUPANOS(ウーラノス)」に関するご意見・ご質問をお待ちしております。

### 【本誌における個人情報及び掲載記事の取り扱いについて】

本誌に掲載されている個人情報は、本人の了解のもとで本誌に限り公開しているものです。よって、第三者がそれらの個人情報を別の目的で利用することや、本誌の無断転載はお断りしております。

発行日は、5月15日・10月20日・2月20日です。

発行日 平成19(2007)年5月15日  
編 集 東北学院大学 広報誌編集委員会  
発 行 東北学院大学

〒980-8511  
仙台市青葉区土樋一丁目3番1号  
TEL.022-264-6412 FAX.022-264-3030  
URL <http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/>  
E-mail tgusomu@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

印 刷 ㈱エイエビー



当誌配合率100%再生紙を使用しています

この印刷物は環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。